

学位申請書記入上の注意

1. 学位申請書に記入日・自署押印後、PDF データも提出すること。

<履歴記載上の留意点>

1. 履歴の異動年月は年月までとし、和暦で記入すること。
2. 学歴は高等学校卒から記載すること。
3. 薬剤師登録番号欄の記入は下記に従うこと。(「、」および括弧は全角)
薬剤師登録(第〇〇〇〇号、平成3年5月10日)
4. 大学院研究科において所定の年限在学し、所定の単位を取得して退学した者は(単位取得後退学)と記入し、その履歴証明書を添付すること。
5. 職歴において、職名がある場合は職名を記入すること。
(〇〇△△専門学校講師 など)
6. 「職歴」「学会及び社会における活動等」に記載する事項については、在職期間または所属期間を明確にし、現職もしくは現所属については「現在に至る」と記入すること。
7. 「賞罰」欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰または職務上の表彰等を記入すること。
8. 最後の欄は、自署押印すること。
9. 本籍は都道府県のみ記載。
10. 写真は所定の場所にのり付けせず、クリップ止めすること。写真の裏には氏名・講座名を記入すること。
11. 申請の際は、PDFファイルをE-mailに添付して事務室担当宛に送ること。また、印刷物も1部提出すること。

履 歴 書				写 真 (3×4センチ) 3か月以内 正面・脱帽	
フリガナ	アイガク タロウ		性別		男
氏 名	愛 学 太 郎				
生 年 月 日 (年 齢)	昭和 54年 10 月 10 日 (満 36 歳)				
本 籍	北海道	連絡先	☎・携帯	052-751-2561	
			E-mail	yakugaku@dpc.agu.ac.jp	
現 住 所	〒464-8650 愛知県名古屋市千種区楠元町1丁目100番地				
学 歴					
年 月	事 項				
平成10年 3月	北海道立美唄東高等学校 卒業				
平成11年 4月	愛知学院大学薬学部医療薬学科 入学				
平成17年 3月	愛知学院大学薬学部医療薬学科 卒業				
	薬剤師登録 (第112589号、平成17年5月10日)				
平成19年 4月	愛知学院大学大学院薬学研究科 (医療薬学専攻) 入学				
平成23年 3月	愛知学院大学大学院薬学研究科 (医療薬学専攻) 修了見込				
職 歴					
年 月	事 項				
	なし				
学 会 及 び 社 会 に お け る 活 動 等					
年 月	事 項				
平成10年 4月	愛知学院大学薬学会 会員 (現在に至る)				
平成15年 4月	日本薬学会 会員 (現在に至る)				
賞 罰					
年 月	事 項				
	なし				
上記のとおり相違ありません。					
平成 23 年 11 月 10 日					
氏名				印	

論文目録の記入要領

日本語はMS 明朝、アルファベットはTimes New Roman、ギリシア文字はSymbolを用いること。氏名欄には14 ポイントを用い、その他の欄には11 ポイントを用いること。報告番号の欄は記入しないこと。申請の際にはPDFファイルをE-mail に添付して事務室担当者宛に送ること。また、印刷物も1部提出すること。

論文題名

RXR アゴニストであるベキサロテンのアミロイド β 蓄積抑制作用に関する研究

基盤論文題名

1. Interaction of Alzheimer's β -amyloid peptides with cholesterol: mechanistic insights into amyloid pore formation.

[Taro Aichi](#), Hanako Gakuin, Jiro Kusumoto, Sakura Chikusa. *J. Biol. Chem.*, 54(27), 4489-4502, 2013.

2. Reversal of apoE4-driven brain pathology and behavioral deficits by bexarotene.

[Taro Aichi](#), Hanako Gakuin, Saburo Nagoya, Sakura Chikusa. *J. Neurosci.*, 34(21), 7483-7492, 2014.

参考論文題名

1. Amyloid- β pathology and ApoE genotype modulate retinoid X receptor agonist activity in vivo.

Saburo Nagoya, Hanako Gakuin, [Taro Aichi](#), Jiro Kusumoto, Sakura Chikusa. *Br. J. Pharmacol.*, 20(3), 345-354, 2013.

インターネット利用による公表が不可の理由の記載例

学位申請論文の図●が（日本〇〇学雑誌 5 : 134-139, 2012）に掲載され、著作権による制約を受けている為

学位申請論文の図▲を使用した学術論文の投稿を予定しており、不利益が生じる為
個人情報保護に係わる図（写真）を含む為

博士論文要旨の作成要領

** 前頁の表紙を作成する。

フォントは14 ポイントとし、日本語はMS 明朝、アルファベットはTimes New Roman、ギリシア文字はSymbolを用いること。（例示部分を書き換えること。）

** 次の頁より論文要旨を以下の要領に沿って作成する。

- (1) Microsoft Word で原稿を作成すること。
- (2) 用紙： A4版8頁以内（図表を含む、概ね4000字以内）を原則とする。
- (3) マージン：上下3 cm、左右3 cm のマージンをとること。
- (4) フォントは12 ポイントとし、日本語はMS 明朝、アルファベットはTimes New Roman、ギリシア文字はSymbol を用いること。文字化けするおそれのある文字や記号の使用は避けること。句読点は「、」と「。」を使用すること。
- (5) 行数は、25行程度（適宜調整可）とし、行間は、1とする。
- (6) 文字数は、35文字程度（適宜調整可）。
- (7) 構成：本文は、目的、方法、結果、考察及び参考文献の順に記入することを原則とするが、その形式が不都合であると考えられる場合は、自由な形式で作成してもよい（特に制約はない）。
- (8) 図表を用いる場合は、本文中に貼付すること。
- (9) PDFファイルをE-mail に添付して事務室担当者宛に送ること。その際、ファイル名は、「博士論文要旨-氏名（カタカナ）.pdf」とすること。また、印刷物も1部提出すること。

承諾書の作成要領

平成 年 月 日

愛知学院大学大学院薬学研究科

研究科長 殿

承 諾 書

下記の論文中のデータの全てまたは一部を **愛知 太郎** が愛知学院大学大学院薬学研究科へ提出する博士（薬学）学位申請論文のデータとすることに同意いたします。そして、これら学位申請論文のデータは他のいかなる学位申請論文のデータとしても使用できなくなることを承知いたします。

1. Interaction of Alzheimer's β -amyloid peptides with cholesterol: mechanistic insights into amyloid pore formation.

Taro Aichi, Hanako Gakuin, Jiro Kusumoto, Sakura Chikusa. J. Biol. Chem., 54(27), 4489-4502, 2013.

共著者全ての者の氏名を記載する。

学位申請者の氏名（本人）は必要な

し。

学院 花子 印

楠元 次郎 印

●作成について

- 1) 論文は必要に応じて追加すること。(投稿中、投稿準備中の場合も承諾書は必要)
- 2) 共著者全員の氏名(本人を含む)・論文題名・巻・頁・出版年を記載すること。
- 3) 印刷中、投稿中、投稿準備中の場合は、その旨を記載すること。
- 4) 共著者全員から自筆サインと印をもらうこと。
- 5) 共著者が遠隔地に居住している等の理由から、承諾書が2ページ以上になるときはページをふること(例:承諾書が3枚の場合には、1/3、2/3、3/3とする)。記入場所は用紙の右下、手書き可。

※申請の際にはPDFファイルをE-mailに添付して事務室担当者宛に送ること。また、印刷物も1部提出すること。